



令和2年12月15日発行 (毎年7月・10月・12月・3月発行)

新春

第151号

おちあい

責任者 谷口 俊顕 企画・編集 落合第二地域センター管理運営委員会 広報部
〒161-0032 新宿区中落合4丁目17番13号 Tel. 03-3951-9941 Fax. 03-3951-9310



版画 アマビエ 岩崎浩三 (西落合在住)

広報部長 小野田 正治

いろいろな行事の中止、外出自粛というこ
とで、今年も例年の倍以上の速さといった感
じで、二〇二〇年も師走を迎え、マスクの着用、
出先での検温、手指の消毒がすっかり定着し
ました。
昔は、島国ということ海外の疫病からは
かなり守られていた日本ですが、それでも長
崎などから感染症が国内へ広がった過去もあ
ります。一方、日本人の生活上の特性(マスク・
手洗いの実行力、大声での会話やハグ・頬ず
りをしない等)が、他国に比べ感染拡大の抑
制となっているともいわれています。
来年に向けて、有効なワクチンの開発・普

及が待たれる今日、パンデミック(感染症の
世界的流行)の「過去」と「現在」を考える
本を二冊紹介します。
歴史学者の磯田道史『感染症の日本史』(文
春新書八〇〇円+税)。「歴史学が世の中に何
ができるか。歴史は現代の人々の役に立つの
か」を考え、「患者史」の重要性を語った本です。
漫画家・文筆家のヤマザキマリ『ちどまっ
て考える』(中央新書クラレ八四〇円+税)。
映画「テルマエ・ロマエ」の原作者でもある
著者はイタリア人と国際結婚し、世界各国で
暮らしていましたが、「パンデミックがいつた
んちどまっして学習する機会を与えてくれた
のだ」と捉えた体験談です。
正月休みにぜひ一読を。

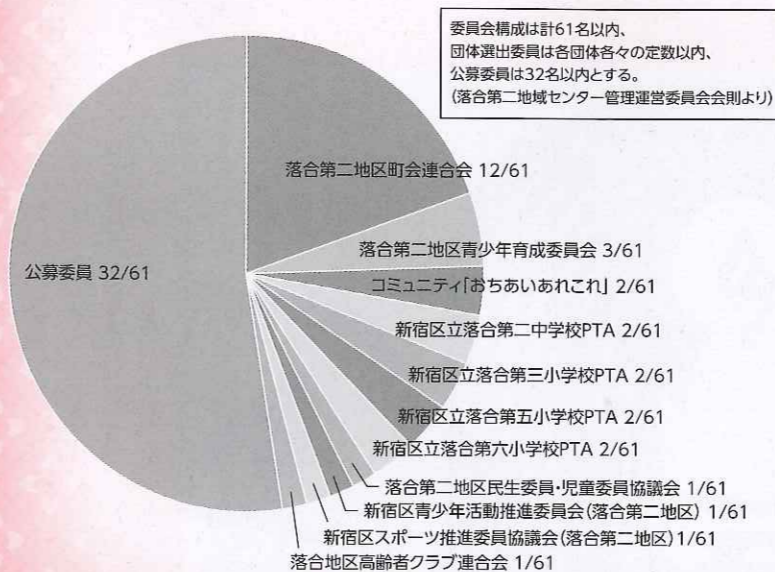
令和2年度落合第二地域センター管理運営委員会基本方針

使命 「落合第二地域に、コミュニティ意識を育てる」

目標

- 「地域の社交場」として地域の住民や団体が気軽に集い、活動で
きるよう努め、ふれあい、交流やネットワークを広げるとともに、地
域の各団体とも連携し、協働を促進して連帯を強め、地域に創造
的に活力を生み出す。
・地域に根ざした生涯学習を推進し、「生きていく力」「コミュニティ
をつくる力」を育てる。
・地域の歴史や文化を大切に、新しい文化の創造につなげる。
・地域情報を、誰もが共有できるようにする。
・諸法令を遵守し、明るく健全な管理運営に努める。

落合第二地域センター管理運営委員の構成



落合の農業(後編)

一七〇七(宝永四)年、葛ヶ谷村を含む二十ヶ
村の嘆願により千川上水は葛ヶ谷村に分水されま
した。この葛ヶ谷分水は四町八反余の水耕田を潤
し、南斜面を下り妙正寺川に至る、約二キロに及
ぶものです。そこでは、落合の春の小川として謳
歌されたことでしょう。現在では、その痕跡を知
る人も少なくなりました。
妙正寺川の水田地帯は、北原橋、葛橋、御霊下
に及び、美仲橋付近の堰は上落合村の田圃への用
水路となりました。(『落合風土記』)

落合村には「名倉の水車」(名主は、名倉甚右
衛門)、「稲葉の水車」(兒玉の水車)があり、妙
正寺川に架かる「水車上橋」「水車橋」の名前に
その面影が残されています。
中井御霊神社には「竜王神」と書かれた「雨乞
いのむしろ旗」(新宿区指定文化財)があり、当
時の農耕生活がしのべれます。

落合村の耕地地名(小字名)は多く、「葛ヶ谷村」
に東耕地・北耕地・西耕地・前耕地、「上落合村」
に八幡耕地、「下落合村」には新田・南耕地があ
りました。

一八八九(明治二十二年)上落合村・下落合村・
葛ヶ谷村は合併され、南豊島郡落合村となり、大
正十三年には、町村施行により落合村は落合町と
なり、落合村の「耕地名」はやがて使われなくな
りました。

落合村の耕地面積は、田圃は、四十町九反歩(自
作田二十一町五反、小作田十九町四反)、畑地は
百五十六町二反歩(自作畑九十六町三反五畝、小
作畑五十九町八反五畝)、田圃の多くは「一毛作」で、
二毛作は僅かに四町八反と記されています。
林産は、柿、梅、丸及び角材などと、豊か
な落合村の田園風景が目に見えます。

落合村の農産物

『東京府志料』(明治初期)*一部抜粋 (表-1)

Table with 3 columns: 上落合村, 下落合村, 葛ヶ谷村. Rows list various crops like rice, wheat, soybeans, etc., with their respective quantities and prices.

『豊多摩郡誌』(大正5年)*一部抜粋 (表-2)

Table with 3 columns: 上落合村, 下落合村, 葛ヶ谷村. Rows list various crops like rice, soybeans, etc., with their respective quantities and prices.

★落合第二地域センター行事★

12月イベント手芸教室「手作り正月飾り」12月12日(土)開催しました。(定員25名2回)
「新春日本の遊び」2021年1月10日(日)開催予定。「射的」「引きごま」「羽子板の絵付け」
※詳細は掲示板等をご覧ください。
※コロナ感染拡大状況により中止の場合があります。

主要農産物は米穀類ですが、落合の特徴として
「大根」栽培があります。この金額は当時の落合
農業の経営に資するものがあります。上落合村の
「柿子」(禪寺丸柿)は、百荷〜一五〇円(表1)、
「柿實」三千五百荷〜七七〇円(表2)は、明
治大正期の東京府内において特に群を抜くものが
あります。『東京府志料』『豊多摩郡誌』は落合農
業を知る上で貴重な資料です。
『東京府近本場作付蔬菜』(河南休男編 明治四
十五年)には、豊島郡落合村の特産として、茄子
と南瓜があり、「茄子」は早生山茄子(東京山茄子)、
畑一反歩に対する堆肥は米糠、糞灰、下肥、「南瓜」

(内藤種)は江戸東京野菜の内藤南瓜で一株平均
二顆を採収し、跡作には大根を栽培し、二年置き
に南瓜を栽培したとあります。
落合の農作物は、自給自足の他に市場や町に運
ばれ、荷車を押した話や、馬に水を飲ませた話(貫
井家)があり、昭和期最後の馬の飼育は、西落合
三丁目と聞いたことがあります。
落合の農業文化の水脈は、今も落合台地に悠久
と流れています。
落合の歴史と文化と緑を大切に、豊かな町
が続きますように祈念いたします。
(西落合在住 野村晃)

初詣・節分情報 令和3年

コロナ感染状況により、実施内容に変更が生じることがございます

Table listing shrine events for the first visit (初詣) and Shimekazari (節分) for various shrines in the area, including dates, times, and special activities.

◆民生委員をご存じですか？

東京都民生委員・児童委員
新宿区落合第二地区民生委員・児童委員協議会会長
久田光子さん（上落合在住）



困ったことがあったら、打ち明けて

コロナ禍で様々な悩みをかかえている人、鬱々とした気分になっている人も多いのではないのでしょうか。芸能人の自殺のニュースも続きましたが、誰かに声をかけてあげれば解決の糸口がみつかるはず。「悩んだり、困ったことがあったら、誰かに打ち明けて」と開口一番、久田さんはおっしゃいます。小柄だけど優しく包みこまれる温かさを感じる方です。

民生委員はボランティア

「民生委員」という名前を知っていても、実際どういった活動をしているのかご存知ない方も多いのではないのでしょうか。
「民生委員・児童委員」は厚生労働大臣から委嘱を受け、ボランティアで活動をされている方々です。育児相談パンフレット「すくすく新宿っ子」の配布や、高齢者のお宅を訪問し、敬老のお祝い金や安否確認、年二回「ぬくもりだより」の配布を行っています。悩みの相談をうけたら、解決できる行政の担当窓口を紹介したり、福祉サービスの情報を提供するなど地域の福祉関係機関へつなぐ「架け橋」の活動をされています。
また「主任児童委員」は、学校、児童館、子ども

家庭支援センターなどと連携して子どもや子育てに關する支援を専門に取り組んでいます。
支えているのは寄り添う想い

悩んでいるとき、悩みを聞いてもらうだけでも力になります。民生委員は守秘義務があり、研修を受けた人たちの安心です。悩みを聞いてもらううちに思わず自分も涙ぐんでしまったという久田さん。悩んで厳しい顔をしていた人がほっとした表情を見せる。やりがいを感じるのにはそんな時だそうです。落二地区には現在二十六名の民生委員・児童委員、主任児童委員がいます。あなたの身近には寄り添う人たちがいるのです。

百年の歴史を持つ民生委員制度

民生委員の始まりは大正六年に岡山県に誕生した済世顧問制度にあると言われています。翌年、東京では防貧事業に積極的だった井上府知事が渋沢栄一の協力を得て救済委員を設置。大阪でも方面委員制度が創設されました。貧富の差が大きくなった大正時代、生活困窮者が多かった地域に手を差し伸べようという気運が高まったのだとわかります。この制度は全国へと広まっていきました。

次は貴方が

久田さんが民生委員になられたきっかけは、退任される予定の前任者が久田さんのお義母さまに声をかけたこと。ご近所付き合いはお義母さま任せだった久田さん。子育ても一段落し、お義母さまに「家のことは手伝うから、やってみたら」と背中を押され、引き受けたそうです。

当時、先輩委員が「新任の時は分からないことが多いでしょうから」と勉強会を開いてくれたそうです。今も各地区会を開き、委員同士の連携・自己研鑽に励んでいます。そんな経験から久田さんは「民生委員になりませんか？」と声をかけられたらぜひ引き受けてほしいとおっしゃいます。
介護、子育ての不安、経済的な悩みなど、誰に相談していいかわからない時、身近な相談相手として「民生委員・児童委員さん」に声をかけてみてください。そしてあなた自身もいつか「民生委員・児童委員」

のバトンを受けとってみてくださいね。
地域の民生委員は、新宿区福祉部地域福祉課へお問い合わせください。
電話03(5273)4080
(藤川 裕子)

◆三井家野方墓所の公開事業について

三井文庫の横を抜けた奥にあり、非公開とされてきましたが、歴史的文化的価値が高いことから、年一回、一般公開されるようになりました。初公開は二〇一九（令和元）年八月三十一日、二〇二〇（令和二年）は十月二十四日でした。近隣住民や歴史ファンには大変貴重な機会です。
現金掛け値なしの新商法で大成を収めた呉服部門を明治期には金融部門から分離させたことで百貨店の先駆けでもあり、財閥として歩んできた三井家。見学していると「三井家同族会」の方が話しかけてくださいました。一九二二（大正十一）年に本所から移転してきた墓所とのこと。

三井家は男系の本家六家と女系の連家五家。明治以降は全てが東京に居住することになり、かつての土地に由来する呼び方で松阪屋や室町家、小石川家といった通称があるのだそうです。元祖・高利と妻・かねの墓碑の近くには奉公人の供養塔が建ち、八百七十七名の戒名が刻まれています。

墓所での写真撮影は禁止です。落ち着いた色のジャケット着用など配慮してお出かけされることをお勧めいたします。
三井家野方墓所 中野区上高田五十一六一
(中落合在住 馬場 尚子)



墓所前景（パンフレットより）



神田川の落合橋から川上を見ると、右手川岸に妙正寺川合流点②の痕跡あり

◆落合歴史散歩① 川の合流点となめくぢ横丁を探して

コミュニティ「おちあいあれこれ」の八名が、下落合駅前に集合して、宇田川斐子さんを案内に神田川と妙正寺川の合流点をめざします。
駅そばの西ノ橋を渡って川下に向かうとすぐの千代久保橋を渡り、さらに踏切を渡ります。駅のホームの端にあたり、かたわらに百葉箱がある植え込み、そこが昔の合流点①です。昭和二年開通した西武新宿線の線路の橋が妙正寺川にかかっていた。当時の川は蛇行していて、昭和十年頃には、神田川改修が進行、新堀が掘られるなど大きく川の形が変わります。合流点②が神田川下流の落合橋と滝沢橋の間地点に移ったのが、昭和十六年頃、線路もこの手前で妙正寺川を渡っていたことを記憶しておられる方も多くはないでしょうか。その後落合水再生センターができ、処理水および、神田川のあるれ水を高田馬場分水路と目白通りの地下水路、妙正寺川に流すなどして、合流点が現在の明治通り高戸橋手前に出現して、もう四十年も経ったのでしょうか。



昔の合流点①、左南方から神田川、右西北方から妙正寺川が合流していた。

第三の合流点は別の機会にして、かつての落合文士村、今回はなめくぢ横丁を探します。
(戸津 和子)

なめくぢ横丁のこと

山手通りを渡って上落合三丁目に入り、落合葬祭場への通りを右に曲がります。この一角に戦前、尾崎一雄や檀一雄が住んでいた。
「暢気眼鏡」で有名な小説家・尾崎一雄は昭和二十四年「群像」九月号に「なめくぢ横丁」を発表。執筆の動機を「病氣見舞いの檀一雄に一泊してもらい上落合での



1941年の地図

同居時分のことをあれこれ話し合った」と書いている。昭和八年、帝大生の壇は旧地番・上落合二の八二九の一棟二戸の真新しい家に住む。二階六畳、一階六畳に三畳の同じ造りで壁一重で繋がっていた。壇は仲間六、七人と二戸をまとめて借りていたが、たまたま空いたところに尾崎が奥さんと赤ん坊とともに早稲田から引っ越ししてくる。鷹揚な壇に子連れ夫婦が助けられ、丹羽文雄や古谷綱



武らが訪れる様子が書かれている。壇のところには同郷の九州出身の友人や太宰治もよくやってきた。後に尾崎の担当をした上野壯夫、小坂たき子夫妻も越えてきて、プロレタリア派の新進作家や近所に住む神近市子や矢田津世子も訪ねてきたりした。昭和九年、尾崎は第二子出産もあり、下落合に転居する。

昭和二十年の空襲でこの一帯も焼け野原となったが多くの小説家、評論家たちが行き交ったこの横丁の路地がわずかに当時の状況を思い起こさせてくれる。
(高阪 三枝子)

参考文献
尾崎一雄全集第三巻
(昭和五十七年六月二十日発行) 筑摩書房

◆猫物語

ほのぼのと猫に届きし年賀状

冬夕焼け猫を抱きて見とれけり

愛猫の逝きて今宵の寒さかな

せわしげに路地駆けぬける恋の猫

冬ぬくし愛猫二匹と夫のあて



(薫風句会 池水 珠子)



落合第三小

大成功 体育学習発表会

晴天に恵まれた十月三十一日(土)、落合第三小学校では、「体育学習発表会」を開催しました。保護者の皆様には多数ご観覧いただき感謝申し上げます。

今年度はコロナ禍の状況を鑑み、例年の運動会とは異なる低・中・高学年に分かれての実施となりました。今回の開催にあたり、教職員一同「今できることを考え、子どもたち

の思い出づくりとなる場を提供しよう」という思いを胸に準備を進めてきました。子どもたちは、スローガン「はなれていても心は一つ 輝け六つの光」の実現に向けて日々の練習に取り組み、当日に臨みました。当日は、短距離走・団体競技・表現演技に取り組みました。特に表現では、友達と協力し、みんなでの演目を創り上げる楽しさと喜び、そして演技を成功させた満足感を味わいました。子どもたちにとって楽しい思い出の一ページになったことと思います。

副校長 諏訪部 浩志



1年生「なかよし号しゅっぱつしんこう！」



2年生「みんなのわ」



3年生



4年生



5年生「落三ソーラン2020」



6年生「道～掲げる！舞え！みらいへつづく旗！～」

3・4年生「デズニースペシャル～Let's be HAPPY～」

落合第五小

体育発表会

落五小では、十月二十四日土曜日に体育発表会を行いました。三密を避けるため、低、中、高の三つに分かれて、三十分ごとに時間を区切って実施しました。

今年度は新宿区からの通達で、運動会は実施できませんでした。しかし何もなしにしてしまうと、子どもたちの活躍の場がなくなってしまうます。制約が多い中で、何とか発表する機会を作りたいと、職員で何度

も話し合いを重ねました。そして徒競走と表現に絞って、体育発表会という形で発表の場を作ることになりました。普段の運動会の表現なら、複数人の組を作り、手をつないだり体を合わせたダンスなどが、今年は密接を避けるためにそのような踊りができません。そのため、子ども一人の動きでもリズムカルで楽しい雰囲気が出せるように、各学年で踊りを工夫しました。私の担当の六年生は、五年生と一緒に沖繩の伝統的な踊りである「エイサー」に取り組みました。高学年らしく力強い動きができるよう、腰を低くして足踏みの仕方や手首の回し方を意識しました。一曲目は伝統的な沖繩の音楽である「七月節」を踊りました。力強さが伝わるダイナ

ミックな踊りをするのができました。二曲目は「風になりたい」の曲で創作エイサーを踊りました。テンポのよいリズムカルな曲に合わせて、掛け声とともに笑顔で楽しく踊ることができました。本番は三十分という短い時間でしたが、徒競走、表現共に力を出し切り、充実した発表会になりました。子どもたちからは「発表会があつてよかった」「楽しくできた」といった感想が聞かれました。保護者の方からも、感謝の言葉をたくさんいただきました。今後も今の状況でできる最大限のことを考え、子どもたちの思い出に残る行事や取り組みを全職員で考えていきたいと思っています。

体育委員長 六年生担任 田中 祐一



1年生 徒競走



2年生 徒競走



3年生 徒競走



6年生 徒競走



3・4年生ダンス「夜に駆ける」



5・6年生 エイサー

落合第六小

バーチャル女神湖

九月二十八日(月)、落六小の五年生は「バーチャル女神湖」を行いました。女神湖移動教室の中止が決定し、落胆していた五年生に、「バーチャル女神湖」をやってみないかと投げかけました。子どもたちは大賛成。夏休み中に、どんなことができそうか、各々が調べたり、考えたりして、たくさん企画書が集まりました。

話し合いの結果、実際に行くはずだった行程に倣って、十個の企画を行

うことに決まりました。

女神湖の景色などを投影し、バスに乗っている気分を演出した「バスレク」。行く予定だった「和紙の里」から取り寄せた和紙と、うちわの骨を使って作る「うちわ作り」のワークショップ。女神湖フルーツバスケットなど全員で楽しめる「ゲーム」。長野県産の巨峰を藤棚に吊り下げた「ぶどう狩り」。行く予定だった長門牧場のアイスクリームを取り寄せ、保護者の方にお弁当作りの依頼をした「お弁当・アイス」。音や香りの専門家にも協力を依頼し、女神湖にいるような雰囲気を作り出す「自然再現」。女神湖の夜空をイメージして星空を創り出した「プラネタリウム」。跳び箱や、送風機、赤い布などを使った「キャンプファイヤー」。家庭科で作ったまくらを投げ合う「まくら投げ」。体育館を暗くして行った

「きもだめし」。

どの企画も子どもたちが一から考え、自分たちで外部の方との交渉や注文を行いました。「みんな、自分たちの企画に自信をもつてやっていると聞いた。準備をしている時だって、みんな目がキラキラしているような気がした。だから、当日もみんなが力を合わせて一つにまとめたのだと思う。これはある児童の感想です。」「できないこと」ばかりに目が行きがちなコロナ禍において、「できること」に目を向けて、主体的に企画の準備を進めていく子どもたちの姿には頼もしいものがありました。子どもたちの思い出の一ページになればいいなと思っています。

五年生担任 矢沢 悠子・曾我 明香



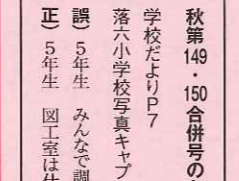
うちわ作り



ぶどう狩り



乳しぼり



キャンプファイヤー



まくら投げ

秋第149・150合併号のお詫ひ
学校だよりP7
落六小学校写真コンテスト
5年生 みんなで調べ学習
5年生 図工室は仕切つて

落合第二中

学年ごとの運動会

部活動で躍進する落二中生!!

文部科学省が九月三日に示した「学校の新しい生活様式」の指針に基づき、感染対策を講じつつも、日常の学校生活がだいたい戻ってきました。全校揃っての行事は未だ叶いませんが、落二中の二大行事、運動会と赤土祭の弁論大会は学年ごとに実施することができました。



3年弁論大会



美術部による会場装飾

ブルグッチ」と「全員リレー」の二種目で実施。開催できる喜びに生徒全員がお互いを労わりあい、励ましあいながら十日間の練習を経て技能を磨き、大きな達成感と連帯感を大いに味わいました。また、弁論大会は、自ら課題を設定し解決に向けて調査し、考えを巡らせてまとめた自分の意見を例年通り全生徒がクラス発表をし、代表者による学年弁論大会を開催しました(一学年十一月六日、

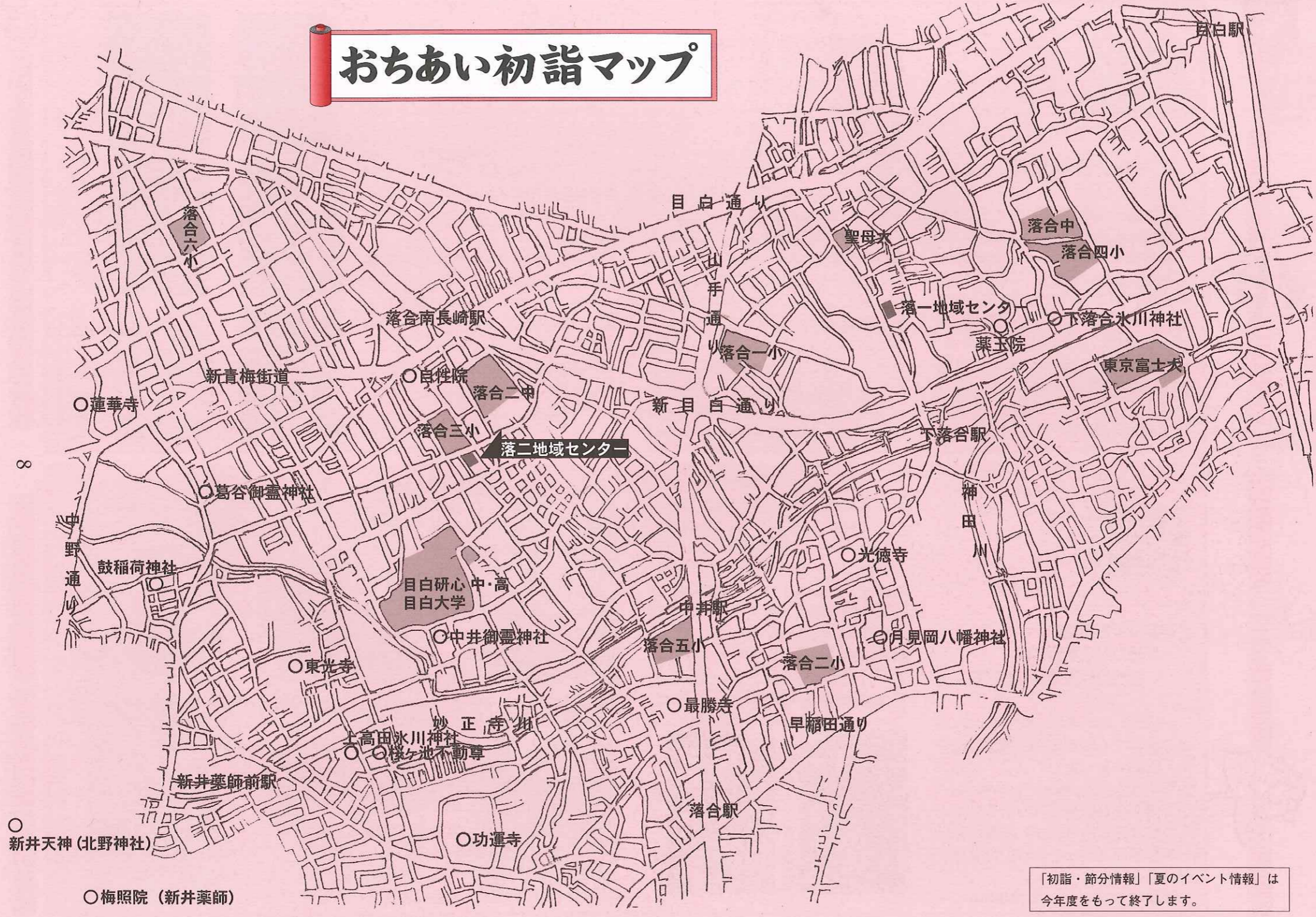
二学年十月六日、三学年十月十六日)。もう一つ、生徒たちが頑張っているものに部活動があります。本校には七つの運動部と三つの文化部があります。吹奏楽部は感染防止策を講じるまでになりました。茶道部は秋のお茶会に向けて稽古に励んでおります。美術部は運動会での会場装飾や地域に掲示する防犯ポスターのアイデアを練っております。

運動部では「新人大会」「昇段審査」など、対外的な活動が盛んにおこなわれています。剣道部では三年生全員が中学生で最上級の二段を取得。区の新人大会でソフトテニス部は男女ともに団体戦優勝、個人戦の優勝とともに都大会出場の切符を手にし、サッカー部は準優勝、ブロック大会に臨みます。バスケット部女子は区

副校長 宇野 頼子
https://www.shinjuku.ed.jp/jh-ochia2/index.html



おちあい初詣マップ



○梅照院 (新井薬師)

「初詣・節分情報」「夏のイベント情報」は今年度をもって終了します。